



JR 東労組水戸

JR 東労組 水戸地方本部
発行責任者 村田祐一
編集 情宣部担当

2026.2.7

No.36

申3号「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」解明申し入れ団体交渉実施⑦

24. 昇進試験や健康診断、運転適性検査、永年勤続表彰等の開催場所や実施方法について明らかにすること。

組合：昇進試験、健康診断、運転適性検査、永年勤続表彰の開催場所や実施方法について明らかにすること。

会社：昇進試験や運転適性検査は現行を基本としながら柔軟に対応する考えである。健康診断は現行の水戸健診センターで今後も使用する考えである。永年勤続表彰については、現行の水戸支社エリアは水戸事業本部で行う考えである。

25. 訓練センターの所属と受講する社員のエリアを明らかにすること。

組合：水戸総合訓練センターの所属と受講する社員のエリアを明らかにすること。

会社：水戸総合訓練センターの業務は水戸事業本部が担い、土浦・水戸・浜通り事業本部に所属する社員が訓練を受講することとなる。

組合：他の訓練センターでも希望すれば受講できるのか明らかにすること。

会社：現行の水戸支社の取り扱いや水戸の特情を踏まえた設備を水戸総合訓練センターで行っているため、土浦・水戸・浜通り事業本部に所属する社員は水戸総合訓練センターで受講することとなる。

26. 県単位の運用について、具体的にどのように行うのか明らかにすること。また、各事業本部の新規採用者の計画及び運用について明らかにすること。

組合：県単位運用について、具体的にどのように行うのか明らかにすること。

会社：段階的に県単位での運用へ移行していくこととなる。基本はベースとなる県で運用するが、本社や新幹線統括本部など社員の成長意欲により、他都県の事業本部や本社等へ異動することもある。県単位運用をベースとした人事運用の移行について、準備でき次第、面談等を実施する考えである。

組合：浜通り事業本部の場合、福島県を選択することになるが、移動距離のある福島事業本部に配置される懸念がある。どのように県単位運用を行うのか明らかにすること。

会社：やみくもに福島事業本部へ配置する考えはない。本人の希望を把握し、決定する考えである。

組合：各事業本部の新規採用者の計画及び運用について明らかにすること。

会社：各事業本部の新規採用者の計画については、本社と各事業本部が調整して人数等を決定し、運用する考えである。

27. 過半数代表者選挙の単位および実施方法について明らかにすること。

組合：過半数代表者選挙の単位及び実施方法について、明らかにすること。

会社：一事業本部一事業場として考えているが、関係省庁と調整を行っていると聞いている。関係省庁の指示に基づき、適切に行っていく考えである。また1月23日現在、本社一本部間で議論中である。

組合：過半数代表者選挙の実施方法について明らかにすること。

会社：事業場単位で公正公平に行う考えである。

28. 安全衛生委員会の設置単位と開催方法について明らかにすること。

組合：安全衛生委員会の設置単位について明らかにすること。

会社：関係法令等に基づき、適切に行っていく考えである。事業場の設置単位は1月23日現在調整中である。

組合：安全衛生委員会の開催方法について明らかにすること。

会社：現在行っているやり方を踏襲し、月1回の開催を検討している。水戸事業本部は規模間や安全のリスク等を網羅するため、委員の構成は柔軟に対応する考えである。

組合：水戸事業本部は多くの職場が統合する。一事業場として安全衛生委員会を行うのは難しいのではないか。

会社：系統毎に必要な時間は確保する考えである。安全のリスクを考え、安全衛生委員会を複数回やるなど、柔軟に行う考えである。現在も安全衛生委員会を行っているので、これまでのノウハウを活かしながら行う考えである。

解明申し入れ交渉は1月23日に行いました。

27項および28項は本部一本社で調整中との回答でしたが、1月28日に事業所の単位が具体的に示されました。

事業本部	事業場区分	現行の箇所名
水戸事業本部	1	土浦統括センター
	1	水戸統括センター
	2	勝田統括センター
	3	水郡線統括センター
	4	勝田車両センター
	5	水戸機械設備技術センター、水戸建築設備技術センター、水戸信号通信設備技術センター、水戸電力設備技術センター、水戸土木設備技術センター、水戸保線設備技術センター、水戸支社
浜通り事業本部	1	いわき統括センター
	2	原ノ町統括センター